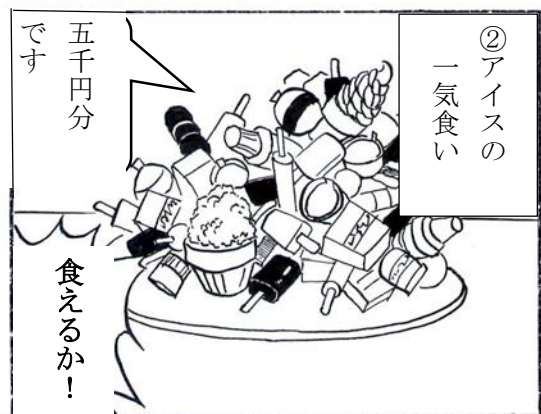


尾小屋鉱山だより

第5号

小松市尾小屋町カ 1-1 TEL・FAX (67-1122) 平成28年7月

クールシェアスポット



ポッポ汽車公開運転日

鉱石を運んだトロッコにも乗れます！スパルタンな乗り心地が新鮮。鉱石になった気分が味わえます。

7月3日(日) 13時~15時(30分ごと)

8月7日(土) 13時~15時(30分ごと)



クールシェア、今年もやります！

暑い時間を涼しいところで過ごし、各家庭のエアコンを切ることで節電と温暖化を防止、地域も活性化しようという取り組みです。

スタンプラリーを実施しているクールシェアスポットでスタンプを5つ集めて応募すると、抽選で素敵なプレゼントがもらえます。7月1日~9月30日まで。

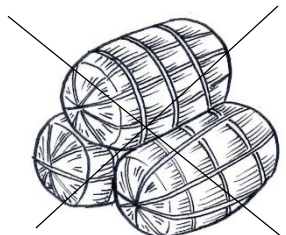


入館料	金額
一般	500円
団体(20名以上)	
プレミアムパスポート	400円

開館時間：9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 毎週水曜日(祝日を除く)・祝日の翌平日

横山隆興氏没後百年特集その2 ー明治時代の尾小屋鉱山ー

前号で、紹介した「北陸の鉱山王」こと横山隆興氏ですが、青年期に激動の明治時代を迎えます。



知行が無くなった

それまで藩主から知行をもらっていた武士も収入がなくなり、自分で生計を立てなくてはならなくなりました。当時、隆興氏は21歳。本家から独立し、別家を立てたばかりでした。何か国益になり、一族や家臣、みんなのためになる事業はないかと模索すること数年、ついに出会いはやって来ます。



隆興氏がトップを務める貸し金業「こうかんしゃ苟完社」に尾小屋で鉱山開発を試みていた吉田八百松氏らが開発資金を借りに来たのです。

結局借金は返せず、明治14年、総株70株を本家の隆平氏が所有して「隆宝館尾小屋鉱山」が誕生します。実質的に隆興氏が采配を振るうことになるのですが鉱山開発は困難を極めます。

良い鉱脈に当たらず、本家をはじめ旧家臣の組織した会社「円三堂」にも借金を重ね、はては盆暮れの払いまで窮するような事態に一族の中にも旧家臣たちの中にも鉱山開発に反対する声が高まっています。(以降次号に続く)

企画展「小松の珠玉と鉱物展」

平成28年8/4~11/30まで

小松の石文化が「日本遺産」に認定されたことを受け、企画展「こまつの珠玉」を開催します。今は弥生時代に地元の緑色の石材を使った管玉づくりや古墳時代の精巧な宝飾品でヤマトの大王や各地の王を魅了し、高いシェアを誇った、「小松ブランド」と河田町山古墳や滝が原、観音下に代表される凝灰岩にスポットが当たっています。が、小松の石はそれだけじゃない！



協力 石川県鉱物同好会

今回、死角となった珠玉を中心に小松の地下資源を紹介します。元鉱夫の三輪氏が蒐集された鉱物標本も里帰りします。お見逃しなく！



13cm 強の紫水晶帰還！



これは何モノ？